

リハビリテーション科学研究科

博士前期（修士）課程

教育理念

本大学院の教育理念を基本として、高度化、多様化が進む現代の保健・医療・福祉分野において、先進的な専門知識と技術を身につけ、質の高いリハビリテーションを実践できる人材を養成することにより、人々の保健・医療・福祉の要請に応え、地域社会ならびに人類の幸福に貢献することをリハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（修士課程）の教育理念とする。

教育目標

1. 先進的な専門知識および技術を備え、質の高いリハビリテーションを展開できる人材の養成
2. 保健・医療・福祉の現場で、優れた管理・指導能力を持って指導的役割を担うことのできる人材の養成
3. 科学のおよび学際的視点から臨床的課題を解決することのできる人材の養成

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（修士課程）では、地域における保健・医療・福祉の充実に携わることに強い意欲を持ち、高度専門職業人としてリハビリテーションの実践に寄与すべく自己研鑽できる人材を求めます。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（修士課程）の教育目標に基づき、以下の要件を満たすことで修士（リハビリテーション科学）の学位を授与する。

1. リハビリテーション専門職としての倫理的責任および社会的責任を深く自覚し、対象者や社会に対して誠実かつ適切に対応できる資質を身につけている。
2. リハビリテーション領域における高度な知識および技術を修得し、対象者が抱える諸問題に対して、科学的根拠に基づいた質の高い臨床実践を展開できる問題解決能力を身につけている。
3. 保健・医療・福祉の現場におけるリーダーとしての役割を理解し、組織運営・人材育成に必要なマネジメント能力を身につけている。
4. リハビリテーション領域における臨床的課題に対し、医科学・心理学・社会福祉学などの学際的視点を取り入れながら科学的に分析・解決する能力を身につけている。
5. 研究成果を学術的に発信できる能力を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

リハビリテーション科学研究科リハビリテーション科学専攻（修士課程）の学位授与の方針に基づき、以下の方針のもとで教育課程を編成・実施する。

1. 授業科目は、リハビリテーション領域における高度専門職業人としての倫理観、管理・指導能力や研究遂行能力の基盤を培う「共通科目」、高度な専門知識と技術を学び臨床実践能力を高める「専門科目」、関連学問領域を学ぶ「応用特色科目」、ならびに「研究指導」によって構成される。
2. 共通科目には、組織をマネジメントする能力を育成するための教育法や管理学、臨床研究を遂行する上で必要な研究法や統計学に関する科目を配当する。
3. 専門科目には、リハビリテーションの科学的基盤、各障害に対するリハビリテーションの知識と技術、障がい者や高齢者などの地域生活支援に関して学ぶ科目を配当する。
4. 応用特色科目には、学際領域であるリハビリテーション科学の臨床および研究実践に対応する上で必要な医科学系、心理学系、社会福祉学系の科目を配当する。
5. 研究指導では修士論文作成を行い、リハビリテーション領域における諸課題を追究する。また、研究活動を通じて研究倫理および臨床倫理に関する理解を深める。
6. 特論・演習科目の評価は、プレゼンテーション・討論の参加状況やレポート等を用いて実施する。学位審査の実施に際しては、研究科の定める基準により評価する。